

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 防災危機管理課

シート No.： 60

作成日： 2025. 5/1

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 安全な暮らしを確保する	平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨における教訓から、次いつ起こるかもわからない災害への備えとして、災害の予防対策や災害時の対策を行い、地域防災基盤を充実させることが求められています。 そのため、通信機器の防災行政無線の点検、防災関連のシステムを充実させる取組や、備蓄品の充足率を向上させることで地域防災力の向上を図っていきます。	・災害に強いまちづくりに向けて、平常時から市民へ情報提供を迅速確実に行えるよう防災行政無線や防災ラジオの整備を実施します。 ・地域の特徴に合わせ、降水量や風速等を把握するシステムを設置し、災害に備えます。 ・地域における防災体制を強化するため、必要な資機材の購入や防災備蓄品の充実を図ります。
	施策	1 防災		
	施策内容	地域防災基盤の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市地域防災計画		
事務事業名	防災対策事業			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
防災行政無線管理運用 （R6. 7. 8）	災害時の情報発信に備え、防災行政無線の適正管理を行い、難聴地域対策を継続します。	—	—	—	9, 413 千円	9, 350 千円
			—	—		
防災ラジオ運用 （R6. 7. 8）	屋外のみでなく、屋内でも災害時情報等を取得できるように防災ラジオの普及・啓発に努めます。	防災ラジオ配布済台数（台）	4, 200	4, 250	8, 467 千円	8, 433 千円
			4, 204	4, 300		
気象状況観測整備 （R6. 7. 8）	市独自で小型の気象観測計を設置し、出水期における災害対応において正確かつ迅速な情報の活用 に努めます。	小型観測計設置台数（台）	2	2	438 千円	439 千円
			2	3		
資機材整備事業 （R6）	配慮が必要な方でも安心して避難できるよう、福祉避難所を中心に、非常用発電機や簡易トイレなどの資機材の整備を行います。	—	—	—	5, 000 千円	4, 889 千円
			—	—		
防災備蓄品整備 （R6）	要配慮者や乳幼児、女性が必要な備蓄品の購入を行い、安心して避難できる体制の構築を図ります。	—	—	—	249 千円	248 千円
			—	—		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
75 歳以上の高齢者への防災ラジオ配布割合（％）	100% （R9）	57%
防災情報周知媒体数（種類）	12 種類 （R9）	7 種類
備蓄品充足率（％）	80% （R9）	40%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
防災行政無線の難聴対策について、管理業者との打ち合わせを何度も行いましたが、改善が見られない地域があり、市民へテレホンサービスの利用やホームページでの確認など代替策の案内を行いました。 資機材や備蓄品の整備については、要配慮者に必要な物品を重点的に整備しました。	☒ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	防災行政無線の放送状況の改善のため、管理運用事業者に対し改善を強く要望するとともに、根本的な改善を行うための工事やシステム的大幅な見直しを検討していきます。 また、資機材や備蓄品の整備に関しては、備蓄倉庫の在庫状況を適宜確認し、適正な在庫管理を行うとともに、不足している資機材・防災備蓄品を購入に努め、引き続き充足率の向上を目指します。			